

【3. 学生及び研究者支援】 ⑤被災大学院生への研究支援

支部名	大学名	活 動 実 績
北海道	北海道大学	○今回の震災の被害により研究環境が確保できなくなっている大学等の大学院生へ必要に応じ研究スペース等を提供する体制を整備し、大学院生14名を受入れ。
北海道	帯広畜産大学	原虫病研究センターの施設利用・技術移転研修公募の中で被災大学院生対象の枠を新たに設け、受入の体制を整備した。（応募申請は0件、締切日：5月31日）。
関東・甲信越	埼玉大学	○被災大学院生に対し、本学が研究指導を行うことを可能にした。（4月4日） http://www.saitama-u.ac.jp/announce/20110404-4.html
東京	東京農工大学	○被災した大学に所属する大学院生の方のうち、府中市又は小金井市とその周辺地域に避難等されている方で、研究指導を受けることを希望される方は可能な限りの受入れを行う。
東京	東京工業大学	○被災大学生を授業料免除の特別研究学生として受け入れる体制を整備。 http://www.titech.ac.jp/public/news/detail_1910.html?id=topics
東京	お茶の水女子大学	○被災地の学生の一時受け入れ態勢を整備
東京	電気通信大学	○申し入れがあれば可能な限り対応することを決定した。
関東・甲信越	横浜国立大学	○実験設備の開放
関東・甲信越	新潟大学	○本学施設・設備等が利用できる体制を整備した。
関東・甲信越	信州大学	○被災地の学生の一時受け入れのための体制を整備 ○被災大学の大学院生の研究支援として、研究場所の提供を行った。 ・東北大学大学院在籍者2名（理学部内研究室の利用）
関東・甲信越	総合研究大学院大学	○被災地の学生の一時受け入れのための体制を整備 http://center.soken.ac.jp/act/press20110408.html
東海・北陸	富山大学	○東日本大震災による被災大学学生への学習支援等について掲載（4月15日） ○東北大学の学生（1名）と大学院生（1名）を研究支援のため受入（6月10日～13日）
東海・北陸	金沢大学	・被災地の学生を各研究室への一時受け入れのための体制を整備
東海・北陸	福井大学	被災大学院生への研究支援体制を整備（「特別研究学生」として受け入れ、被災大学との協議の上、研究指導を行う）
東海・北陸	岐阜大学	・特別研究学生として受け入れる旨をHPに掲載し、東北大学の学生3名を受け入れた。
東海・北陸	静岡大学	○被災地の学生の一時受け入れのための体制を整備。 URL: http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_kenkyu.pdf
東海・北陸	名古屋大学	各部局を通じて各研究室単位での受入れ可能情報をとりまとめ、（学生等受入れ可能な研究室等が125で、受入れ可能人数は350人程度）ホームページに掲載し希望を募っている。
東海・北陸	名古屋工業大学	○被災された大学の学生等の受入体制を整備(再掲) URL: http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_12.html ○被災された大学及び研究機関等の研究者の受入体制を整備 URL: http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_13.html

【3. 学生及び研究者支援】 ⑤被災大学院生への研究支援

支部名	大学名	活 動 実 績
東海・北陸	豊橋技術科学大学	○大学院特別研究学生として、原則無償で研究指導を受けることができる体制を整備。
東海・北陸	三重大学	○現在（該当者なし）特段の整備は行っていない。（要請等あれば整備について検討。）
東海・北陸	北陸先端科学技術大学院大学	特別研究学生として受け入れるための取扱いを整備するとともに相談窓口を設置し、ホームページ（URL: http://www.jaist.ac.jp/news/update/2011/post-9.html ）にて周知を行い、平成23年7月に特別研究学生を1名受け入れた。
近畿	滋賀大学	○被災大学院生を特別研究学生として受け入れる体制を整備 http://www.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=35:1
近畿	京都大学	・被災学生・研究者の受入れに対し図書館施設（電子ジャーナル、データベース、資料貸出）の利用 URL: http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=795 ・被災大学院生の受入れに対し情報環境（学内ネットワーク、インターネットへの接続、教育用コンピュータ）の利用
近畿	大阪大学	○各研究室において学生・教職員等を受入れ（東北大15名、東京大3名、筑波大2名、千葉大1名）
近畿	神戸大学	○学生身分以外による短期間（1ヶ月未満）の受入状況 ・東北大学の学生を2名（学部1名、大学院生1名）を特別研究学生に準じた取り扱いにて受け入れ研究支援した。（4月中に終了） ・東北大学大学院博士後期課程の留学生を研究員として受け入れ、研究場所としては共同研究室を提供しゼミなどにも参加した。（4月中に終了）
近畿	奈良先端科学技術大学院大学	○被災大学院生等に対する教育研究支援体制を整備 http://www.naist.jp/news/jisin_taiou.html ○特別研究学生として東京大学の学生を1名受け入れ
中国・四国	鳥取大学	○被災地の研究者の一時受け入れのための体制を整備
中国・四国	島根大学	○被災地の学生への研究環境提供のための体制を整備 ○特別研究学生として受け入れ体制を整備
中国・四国	岡山大学	被災した他大学の学生・大学院生に向けて、本学における研究指導の希望がある場合は、授業料不徴収により、本学への受け入れが可能とする取り組みを導入し、1名の受入を行った。
中国・四国	広島大学	○被災地の学生の受入体制を整備 http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html ○法務研究科において東北学院大学の法科大学院生（3年）1人を受入 受入期間 … 4月5日～5月6日 宿泊施設 … 病院レジデントハウスを提供（無償） ○国際協力研究科において東北大学大学院の学振特別研究員1人を受入 受入期間 … 3月21日～4月22日 宿泊施設 … 山中会館を提供（無償）
中国・四国	山口大学	○研究生又は特別研究生としての受け入れ体制を整備したが、希望者はいなかった。 ○平成24年1月、本件についてのホームページ上の掲載を削除した。
中国・四国	徳島大学	○本学に適当な研究指導者がいれば、被災大学院生を特別研究学生として受け入れる体制を整備（23年4月末日現在まで問い合わせなし）

【3. 学生及び研究者支援】 ⑤被災大学院生への研究支援

支部名	大学名	活 動 実 績
中国・四国	愛媛大学	<p>○愛媛大学に適切な研究指導者がいれば、被災大学院生を特別研究学生として受け入れる措置を講じた。</p> <p>○被災大学院生を特別研究学生として受け入れた。 （東北大学大学院生1名を受入。4月25日(月)～6月30日(木)）</p> <p>○特別研究学生として東北大学大学院の学生1名(前述)、北里大学大学院の学生1名(6月1日(水)～3月31日(土))、東京大学大学院の学生1名(8月1日(月)～9月30日(金))の計3名を受け入れた。</p>
中国・四国	高知大学	<p>○「東日本大震災により被災した他の大学に在籍する学生の教育・研究支援に関する内規」を作成し、被災大学院生の特別研究学生としての受け入れを可能とした。授業料は徴収しない。</p> <p>・東北大学の大学院生1名を特別研究学生として受け入れ(5月10日～8月10日)</p> <p>○研究スペースおよび実験機器一式を大学院生3名に提供 (3月25日～4月18日、3月28日～4月8日、5月10日～8月5日・9月19日～10月7日)</p>
九州	福岡教育大学	<p>○受入の時期や研究内容等の相談に応じ、受け入れる体制を整備した。受入れにあたっての検定料、入学料、授業料は免除とした。(現時点で相談者なし。)</p>
九州	九州大学	<p>・被災地の学生の一時受け入れのための体制を整備。特に、農学研究院、法学研究院が、被災地の大学院生への研究環境提供等の支援についてのお知らせをホームページに掲載。 http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/ http://www.law.kyushu-u.ac.jp/tools/displaynews.php?id=113</p>
九州	九州工業大学	<p>○特別研究学生として受入れる場合、公私立大学の学生についても授業料は原則免除とすることとした。 〔URL:http://www.kyutech.ac.jp/info/id607.html〕</p>
九州	佐賀大学	<p>○ 総合情報基盤センターの利用を可能にした。</p> <p>○ 総合分析実験センターの利用を可能にした。 (http://www.iac.saga-u.ac.jp/aid.pdf)</p> <p>○ シンクロトロン光応用研究センターの利用を可能にした。 (http://www.slc.saga-u.ac.jp/old20110907/support.html)</p>
九州	長崎大学	<p>○被災地の大学院生の一時受け入れのための体制を整備(4月28日まで実施) (特別研究学生として東北大学の大学院生1名の受入れ)</p>
九州	熊本大学	<p>○大学院法曹養成研究科において、震災の影響により新司法試験までの学修場所を確保することが困難な東北大学及び東北学院大学法科大学院等の修了生を支援するため、研究科の施設を利用できることとした。(平成23年4月13日～5月31日) http://www.ls.kumamoto-u.ac.jp/cgi-bin/infomation.cgi?mode=logfile&tgnun=11</p>
九州	大分大学	<p>被災地域の大学に在学する大学院生で当該大学における研究活動が困難な学生に対して、当該大学と協議の上で特別研究学生として受け入れることを公表した。 URL:http://www.oita-u.ac.jp/O1oshirase/kenkyusien.html</p>
九州	宮崎大学	<p>○特別研究学生として受け入れのための体制を整備</p>

【3. 学生及び研究者支援】 ⑤被災大学院生への研究支援

支部名	大学名	活 動 実 績
九州	鹿児島大学	<p>○水産学部での支援 ・4月6日 鹿児島大学水産学部では、この度の震災に伴い所属大学での修学や研究が困難になった学生、院生、教職員に対して、附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション（旧水産実験所）をはじめとする施設の利用や、当学部の授業の公開（聴講）、卒論研究支援等を行う用意がある旨の連絡があり、4月13日に本学ホームページに掲載するとともに国大協へ報告。 URL:http://www.kagoshima-u.ac.jp/information/2011/04/post-40.html</p> <p>○農学部での支援 ・東北大学大学院に博士課程に進学予定であった生物資源化学科研究室の大学院生を東北大学の始業まで当該研究室に置くことにした。</p>
九州	鹿屋体育大学	<p>○被災大学院生からの研究支援の申し出があった場合の方策について、検討を進めている。</p>
九州	琉球大学	<p>○被災地の大学院生の受け入れのための体制を整備 ○北里大学の大学院生（博士前期）を7月（1週間）に1名受入れた。（亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構：REIMER JAMES DAVIS特命准教授の研究室にて） ○熱帯生物圏研究センター・瀬底研究施設において、東日本大震災で被災した北里大学海洋生命科学部（岩手県大船渡市）の大学院生を1名受け入れ研究の場を提供した。なお、宿泊施設使用料については、無償とした。 6月→1名受入（H23年6月29日～9月10日）</p>